

ケッティーのFX講座

第6回

トレンド・チャネルラインからの
エントリーパターン

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

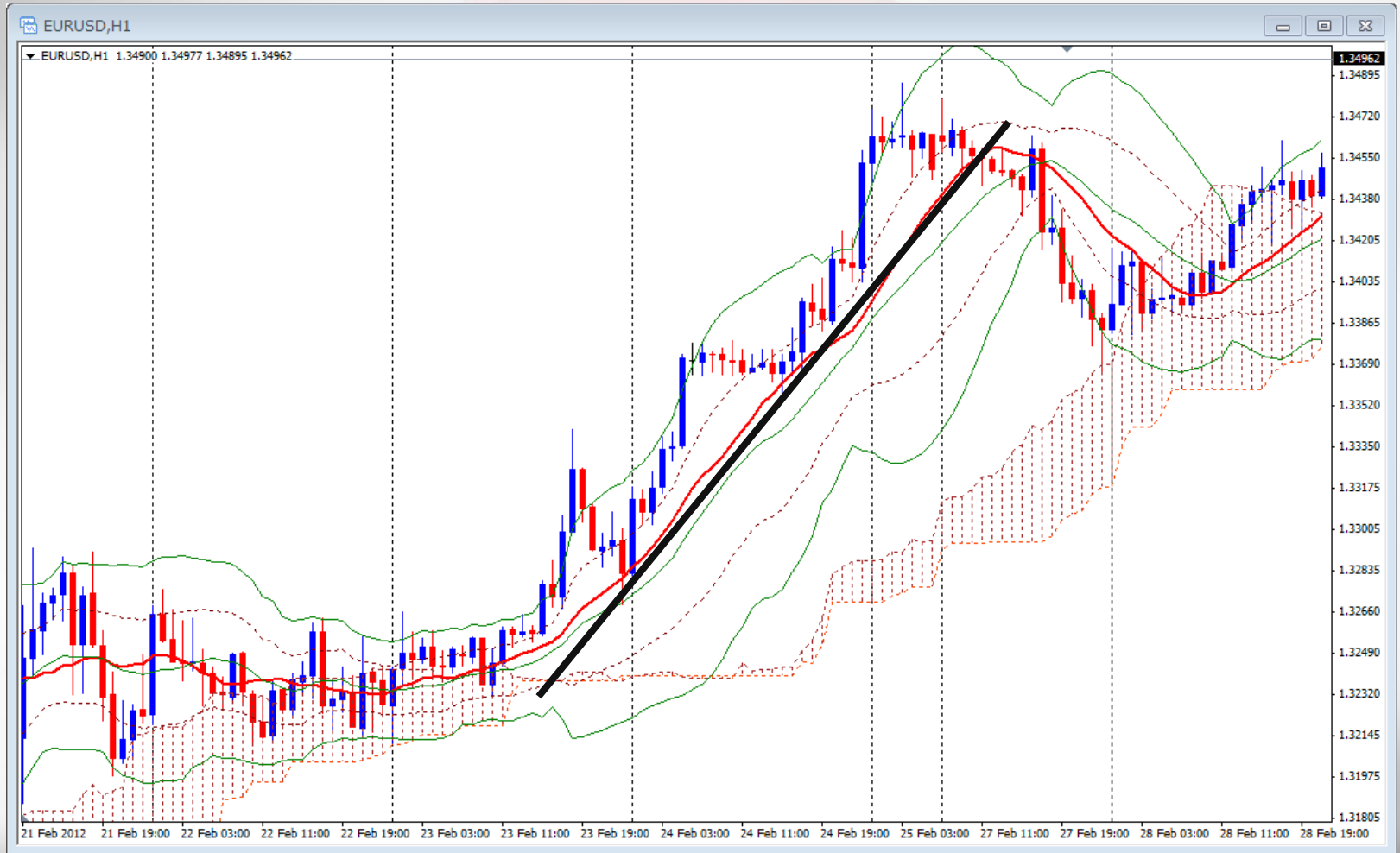
本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

トレンドラインを引いてみよう①

トレンドラインとは？

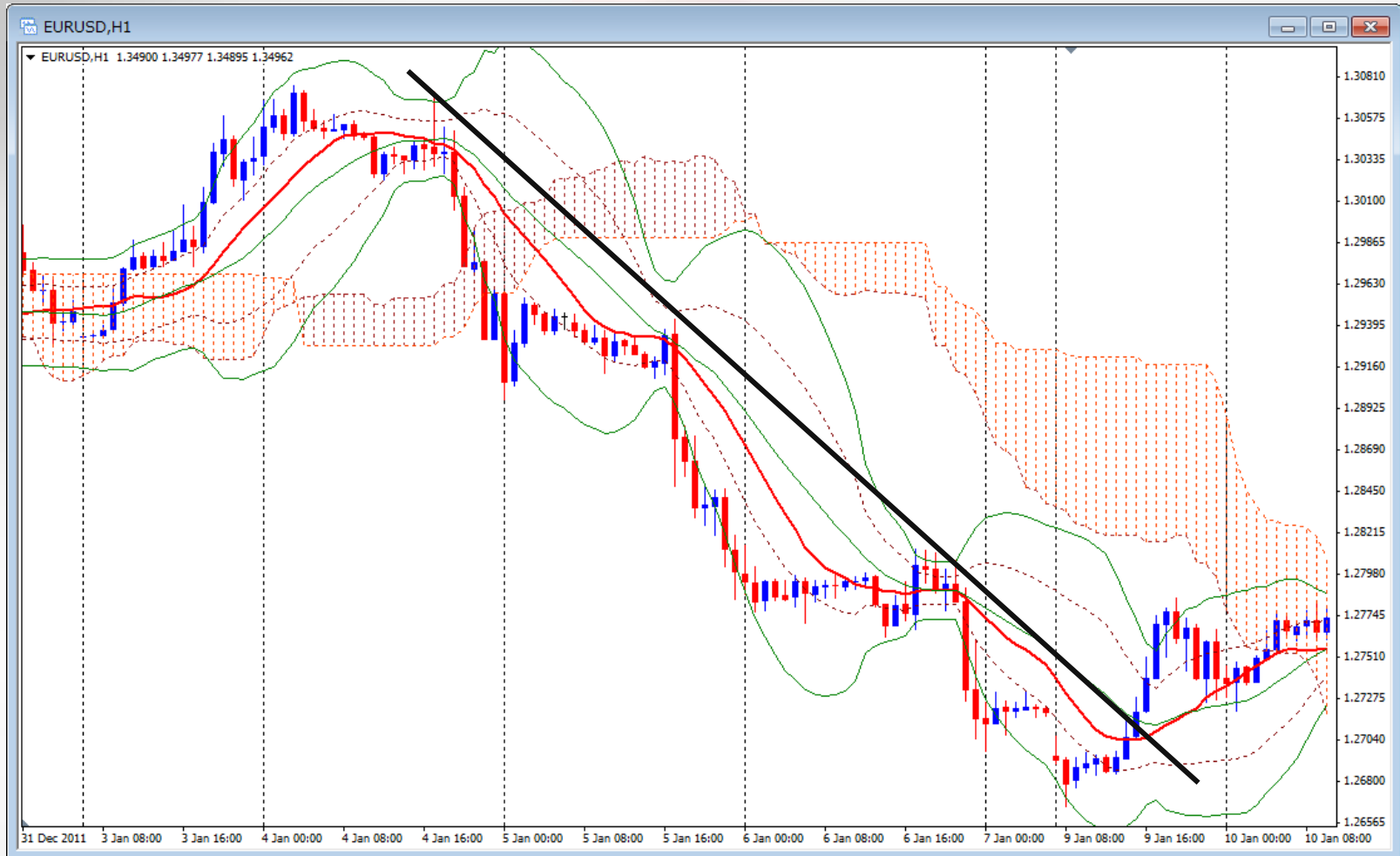
トレンドラインとは、トレンドが発生している時に引く傾斜のあるラインを指します。

- ・ 上昇（アップトレンド） → 安値と安値を結んで右肩上がりに引きます。



トレンドラインを引いてみよう②

- ・ 下降（ダウントrend）→高値と高値を結んで右肩下がりに引きます。

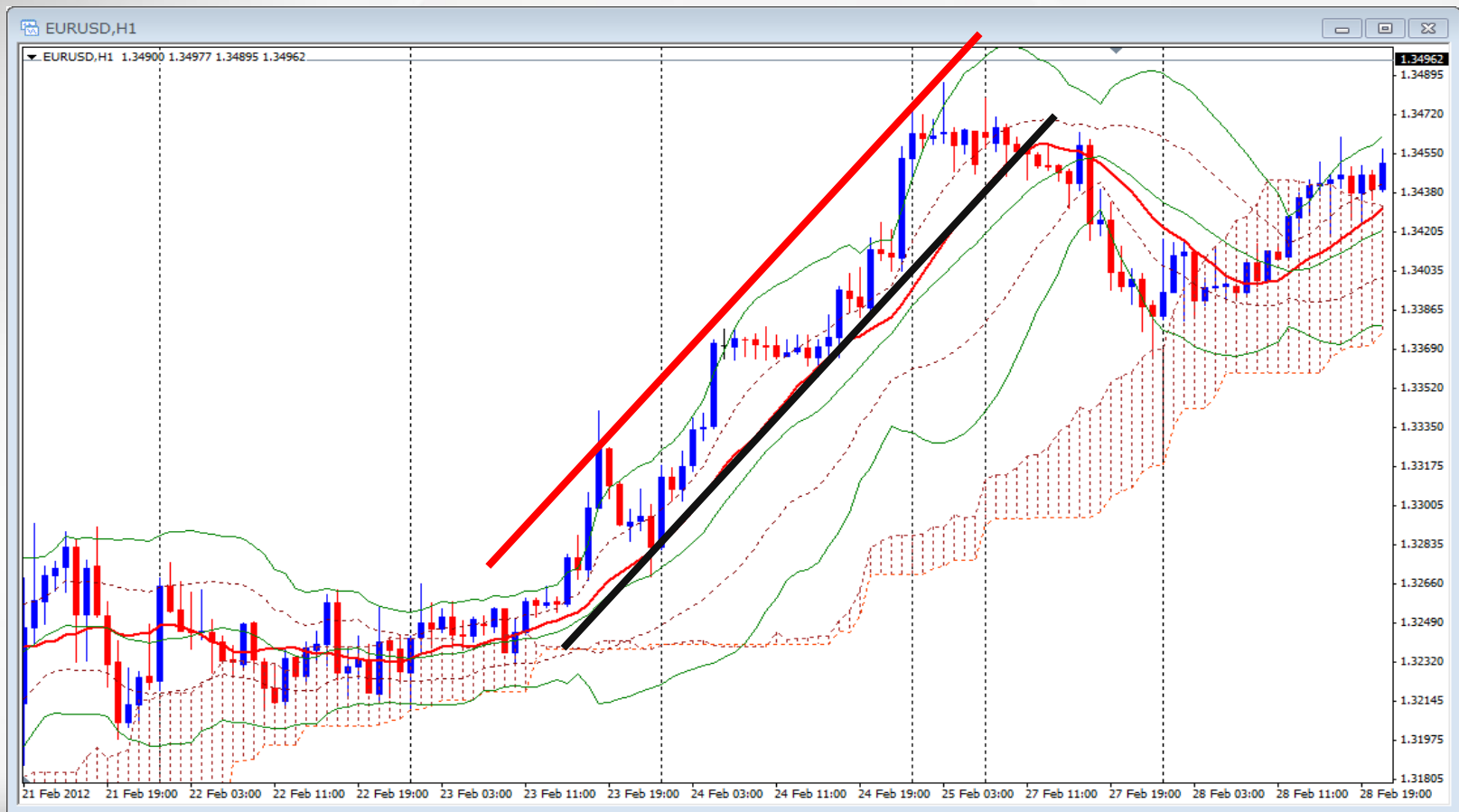


チャネルラインを引いてみよう①

チャネルラインとは？

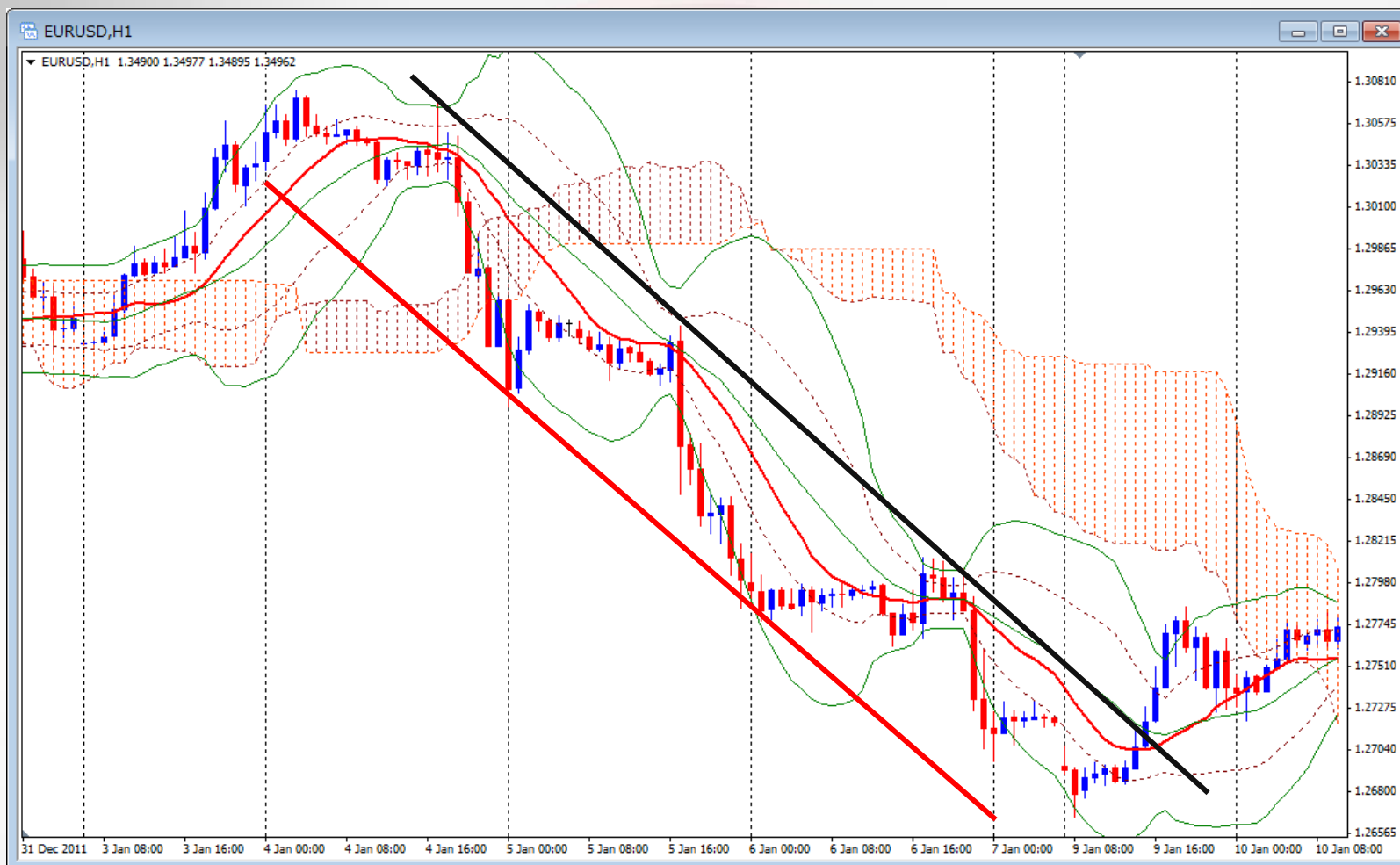
トレンド発生中に、トレンドラインと並行にラインを引き、ローソク足がライン内に収まるように引くラインを指します。

- ・ 上昇（アップトレンド） → 高値と高値を結んで右肩上がりに引きます。



チャネルラインを引いてみよう②

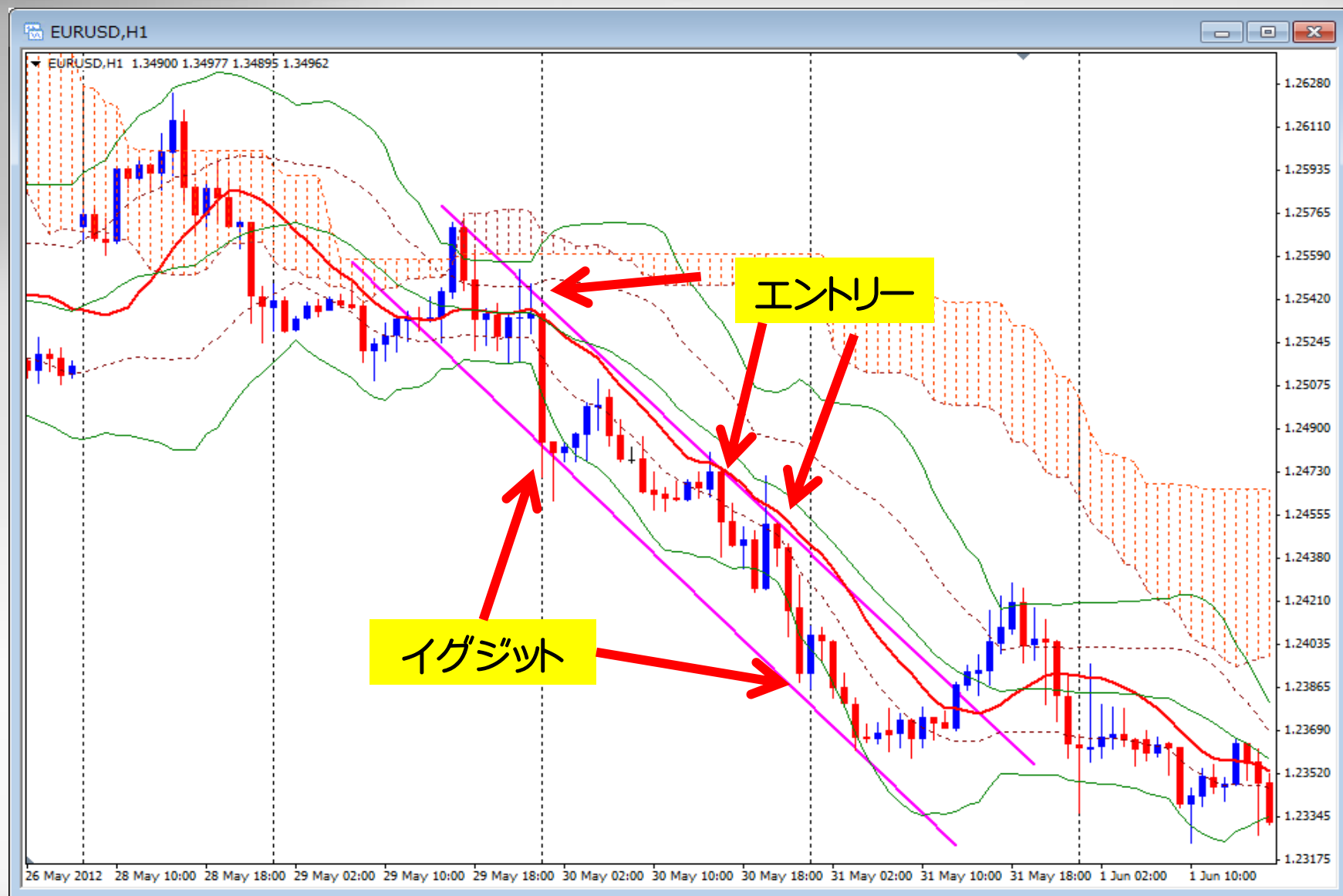
- ・ 下降（ダウントrend）→ 安値と安値を結んで右肩下がりに引きます。



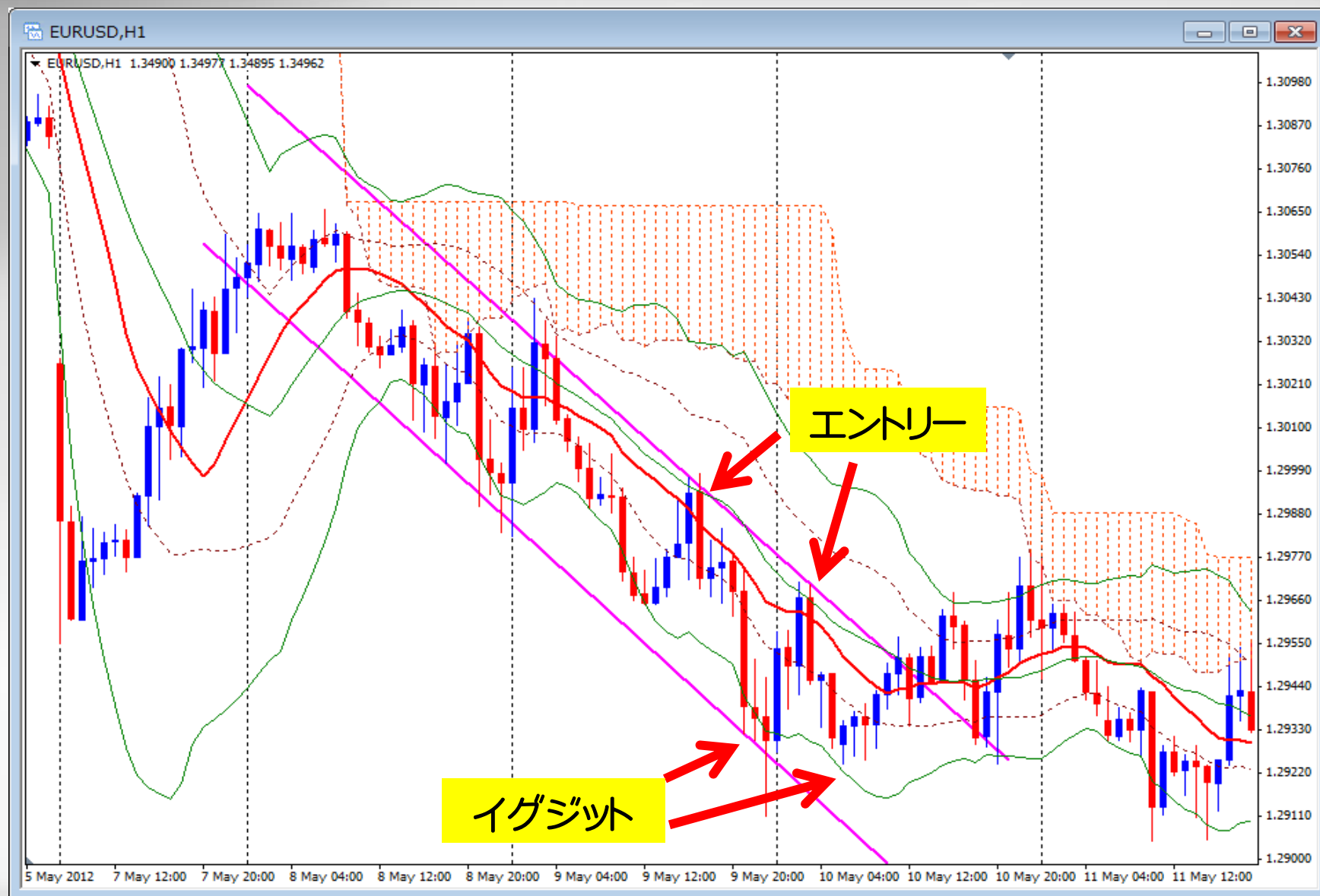
トレンドラインとチャネルラインを引く注意点と 基本的なラインを用いたエントリー手法

- ①ヒゲ、実体を含め、一番よく接する線を引くようにする事。
- ②上昇トレンドの時は安値と安値を結ぶのがトレンドライン。
高値と高値を結ぶのがチャネルラインとなる。
- ③下降トレンドの時は高値と高値を結ぶのがトレンドライン。
安値と安値を結ぶのがチャネルラインとなる。
- ④長期足をメインにトレンドラインとチャネルラインは引くようにする。
- ⑤トレンド発生中は往々にしてこの2本のライン内で上下に波形を描きながら推移する。
- ⑥この2本のラインを引くことで、ライン内でのエントリータイミング(仕掛け方)とイグジット(決済)のシナリオを想定することができる。
トレンドラインでエントリー → チャネルラインでイグジット
- ⑦損切りを置くところはトレンドラインから少し離れた位置に置く。
2本のライン内の値幅によるが、多くても20 pips以内が目安。
もちろん、この目安に当てはまらない場合もあるので、損切り値の置き方は過去検証を重ねて感覚的に掴んでいきましょう。

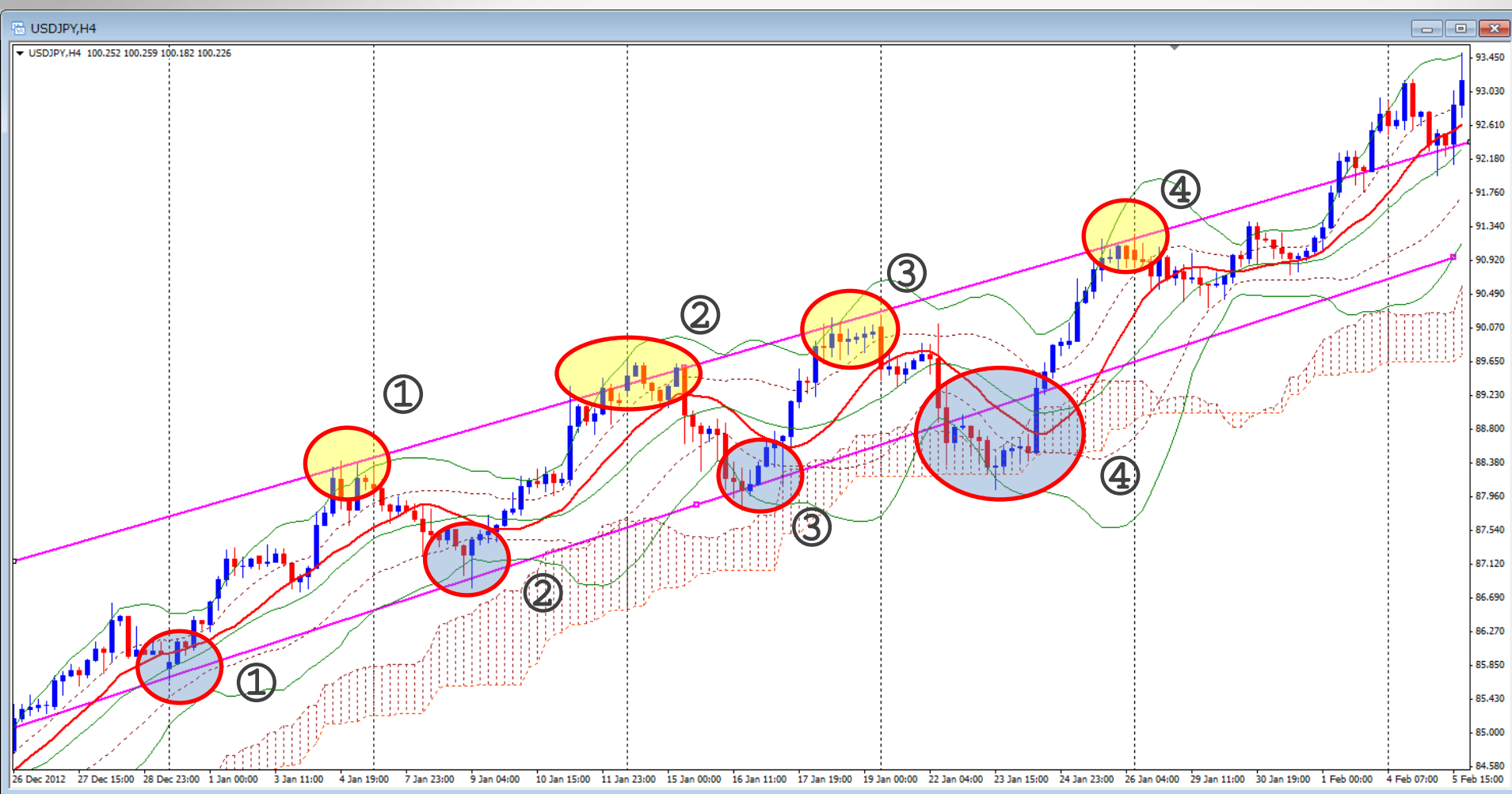
チャネルライン内での基本エントリー例①



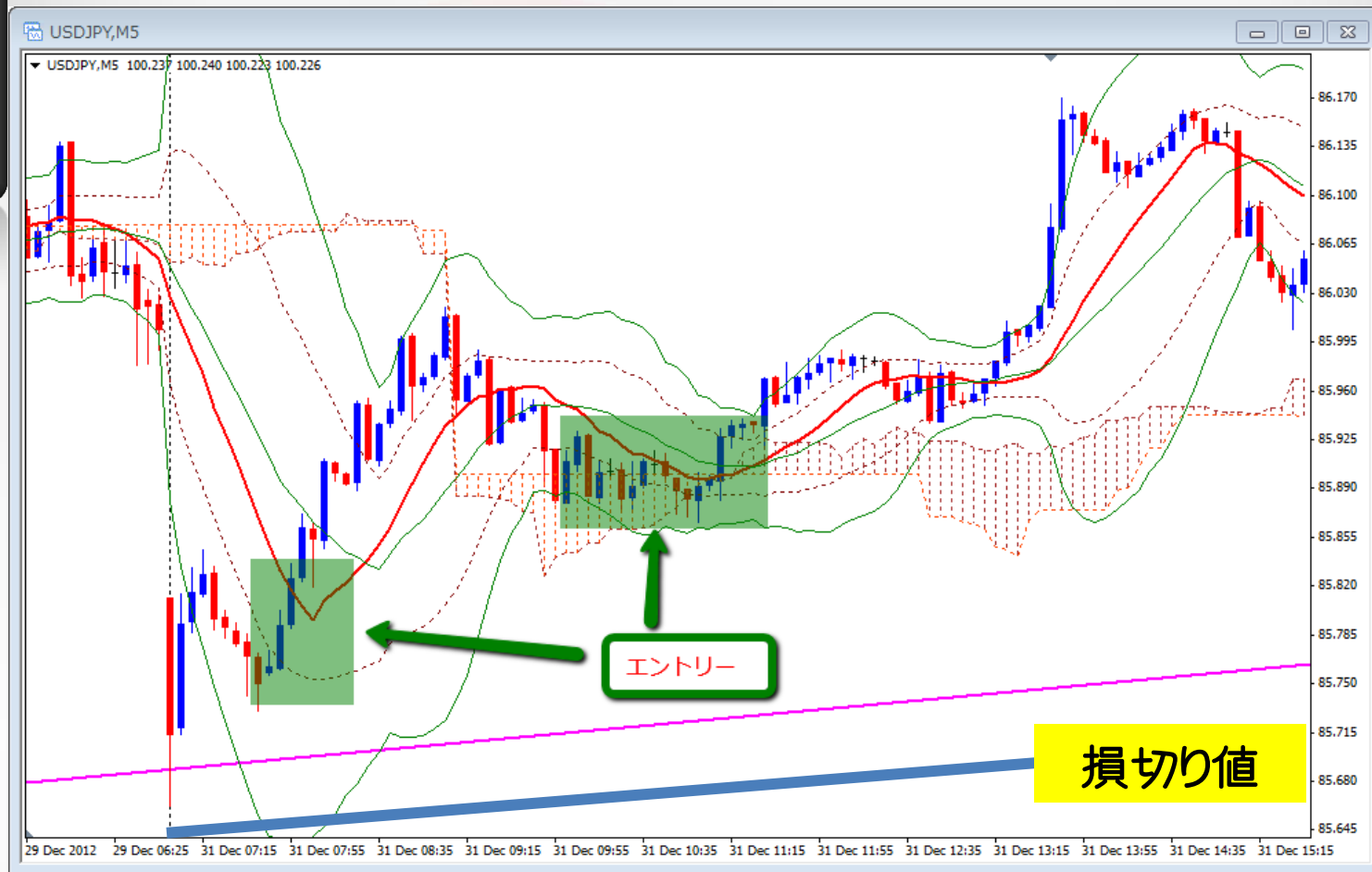
チャネルライン内での基本エントリー例②



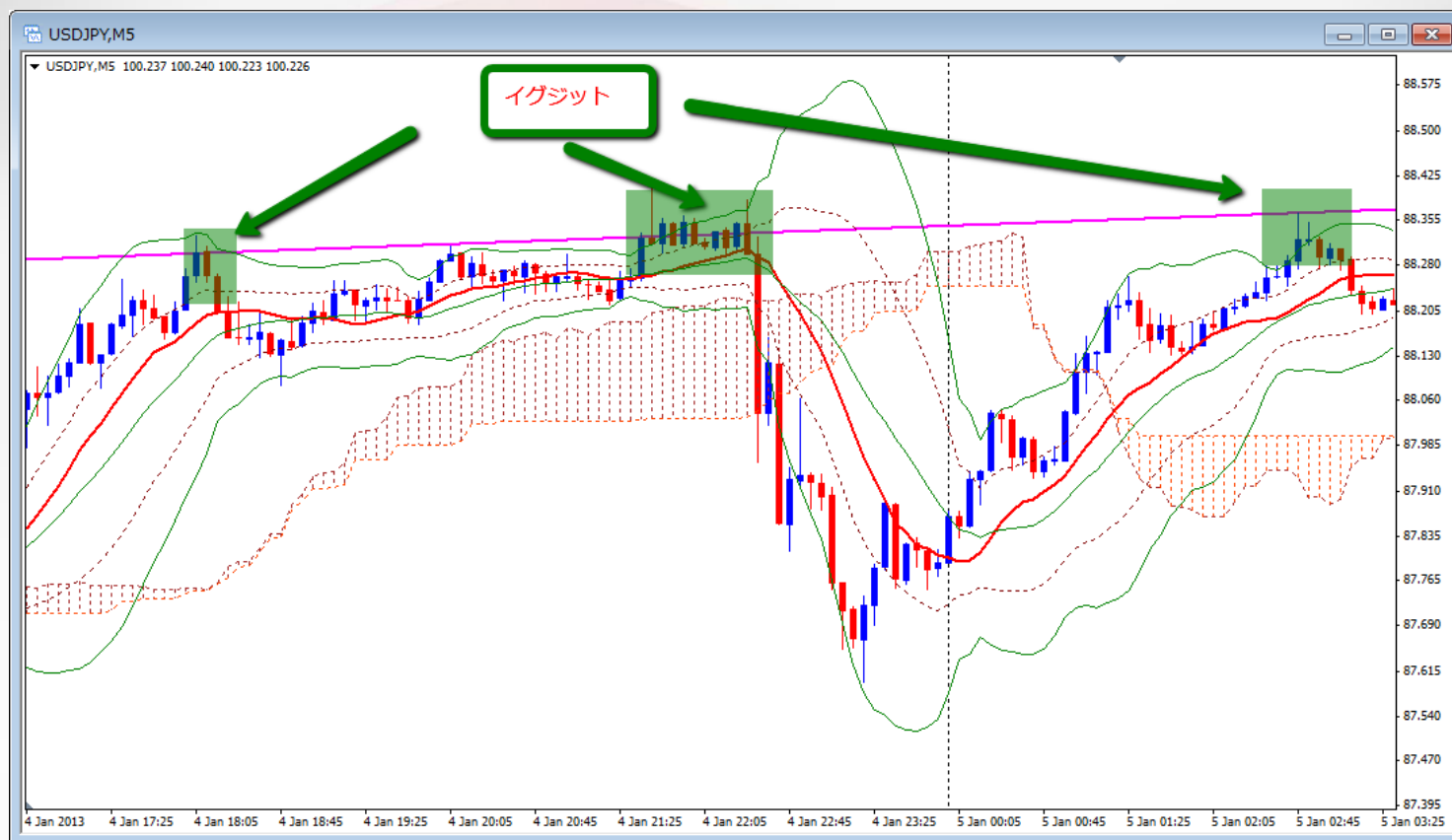
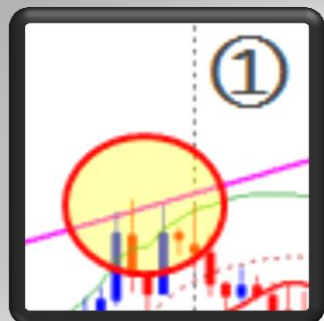
チャネルライン内での基本エントリーパターンを詳しく見てみよう！



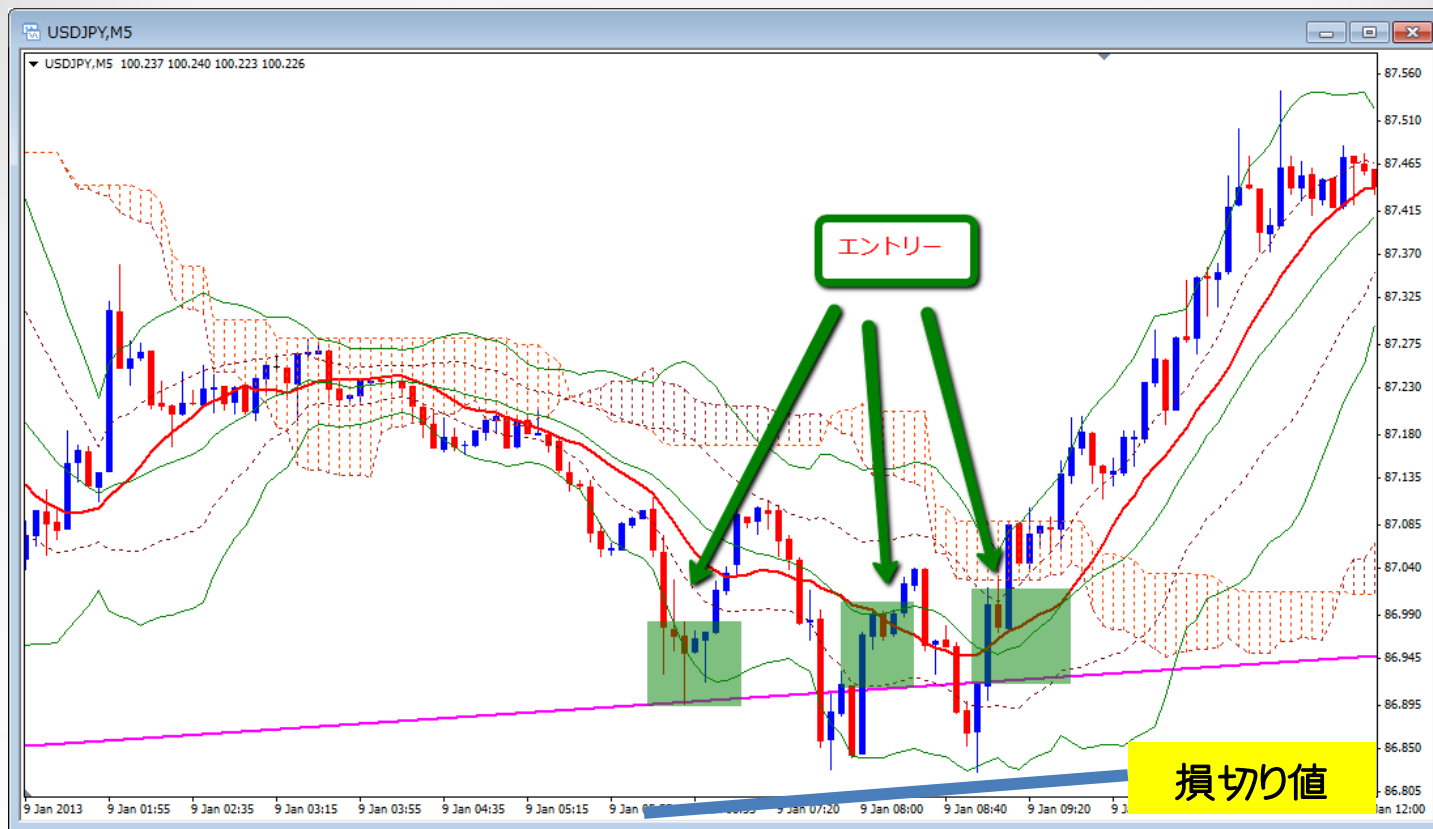
エントリーパターン①のエントリータイミング



イグジットパターン①のイグジットタイミング

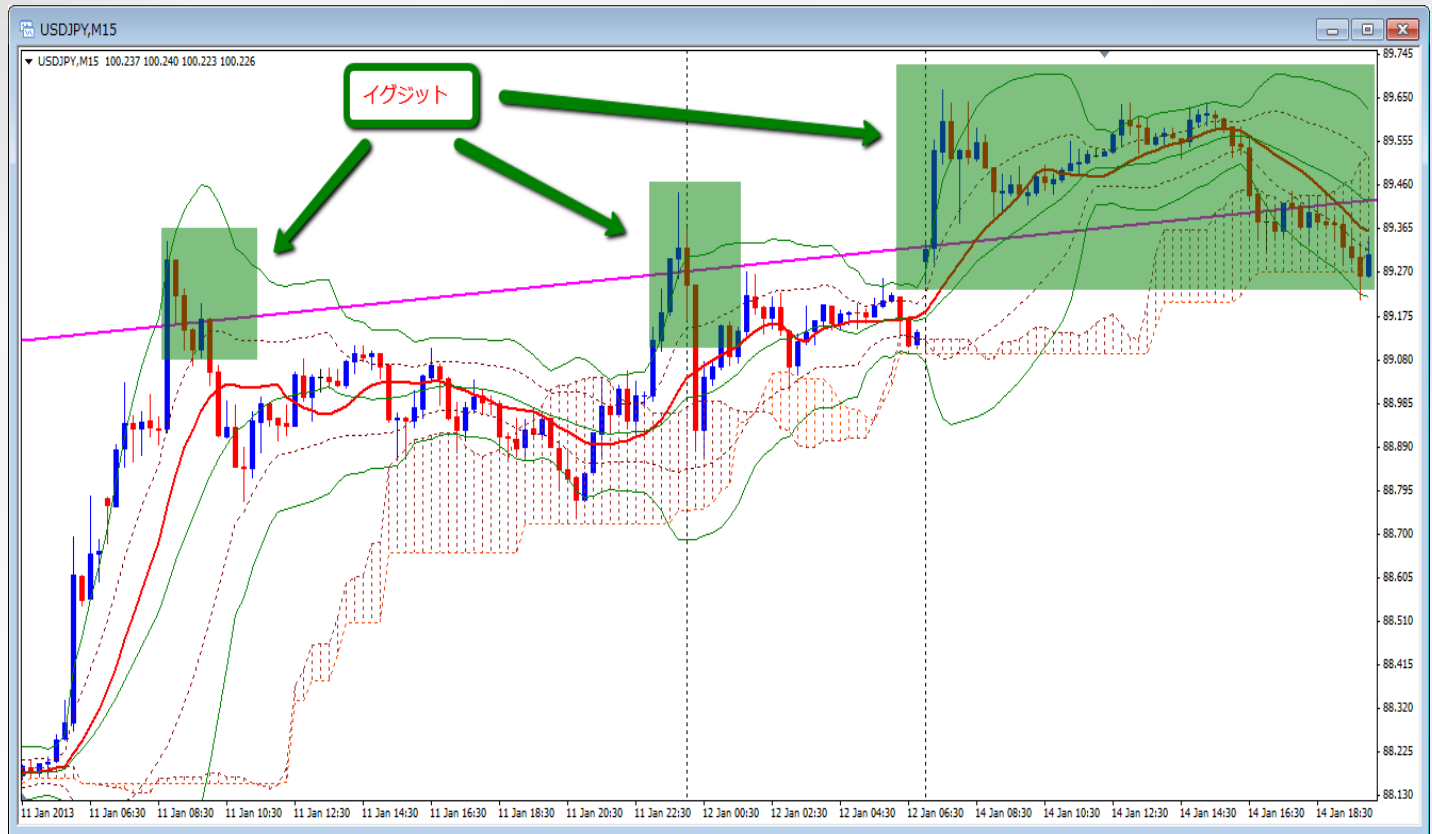
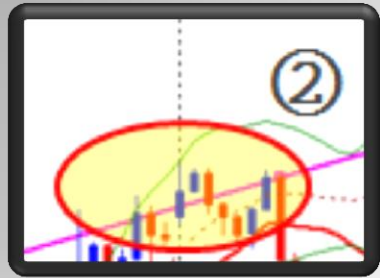


エントリーパターン②のエントリータイミング



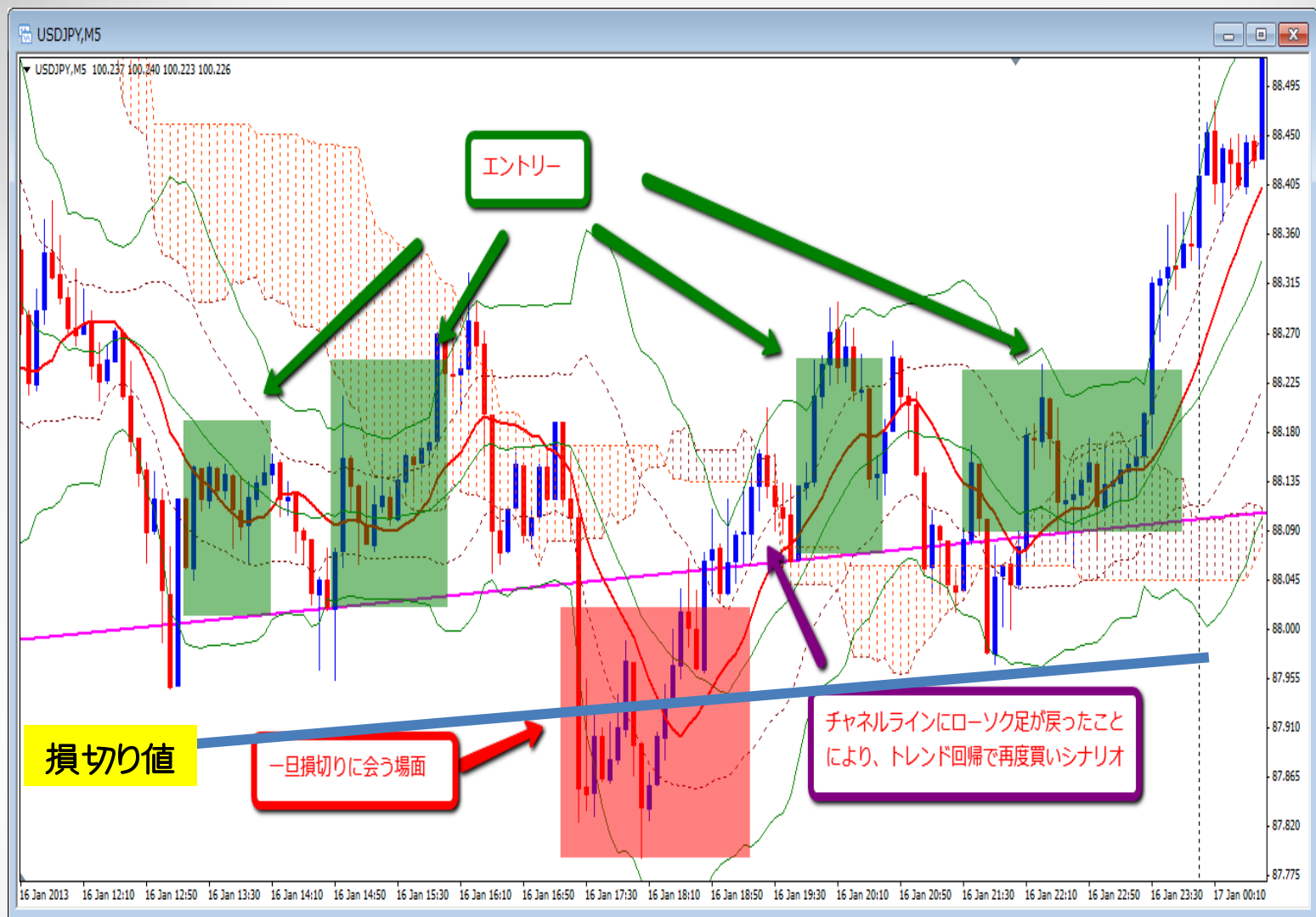
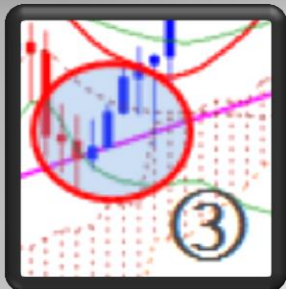
ラインから少しはみ出たときは様子を見て、ライン内に回帰するタイミングでエントリーするように心がける。

イグジットパターン②イグジットタイミング

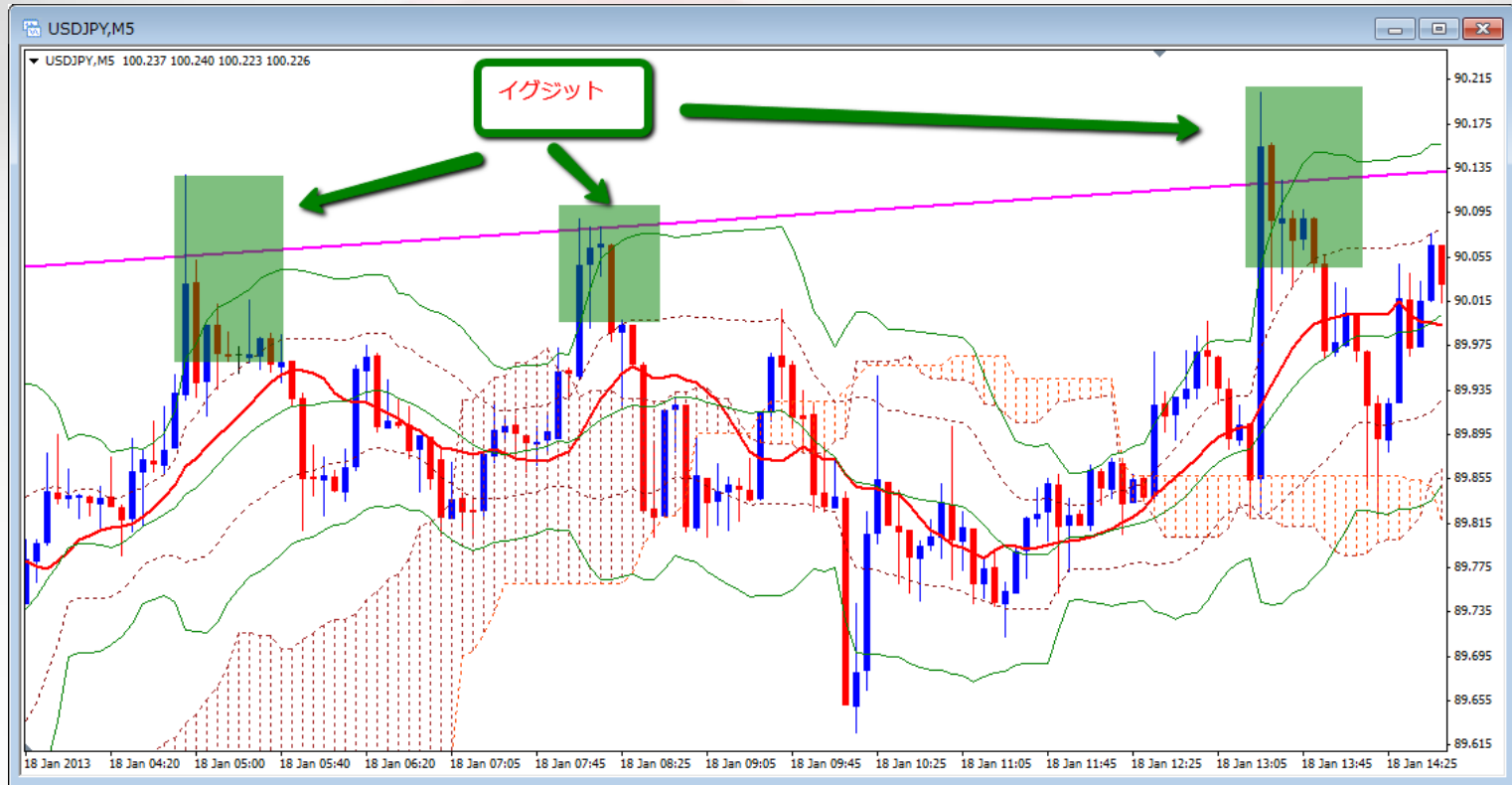
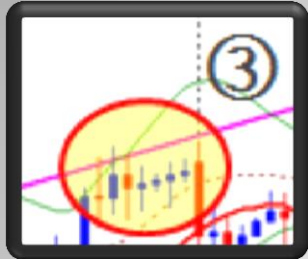


手動決済の場合、左側2か所で決済しなかった場合は右側の場所で決済するが、勢いよく抜けているため、半分決済してポジションを保有する手段もある。→しかしチャネルラインに回帰したためそのタイミングで決済。

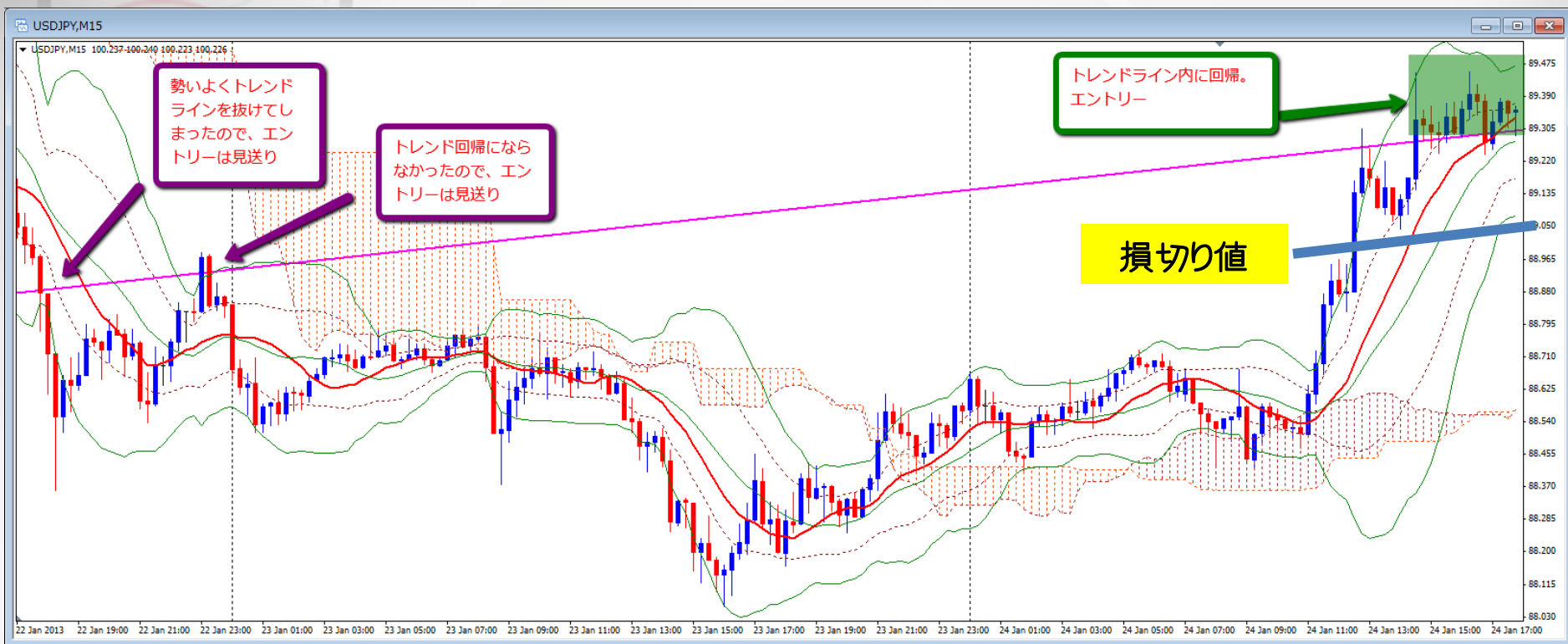
エントリーパターン③のエントリータイミング



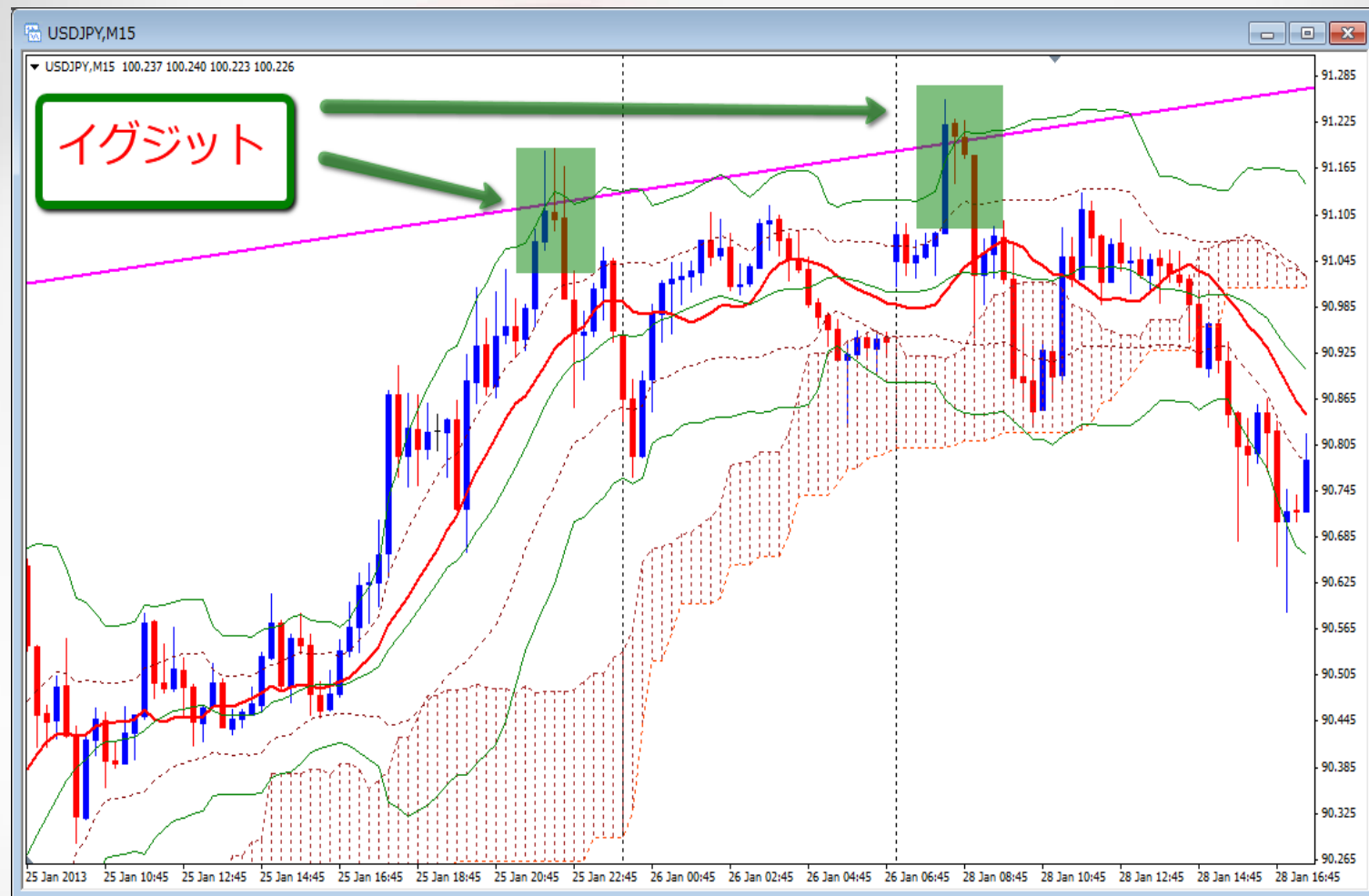
イグジットパターン③のイグジットタイミング



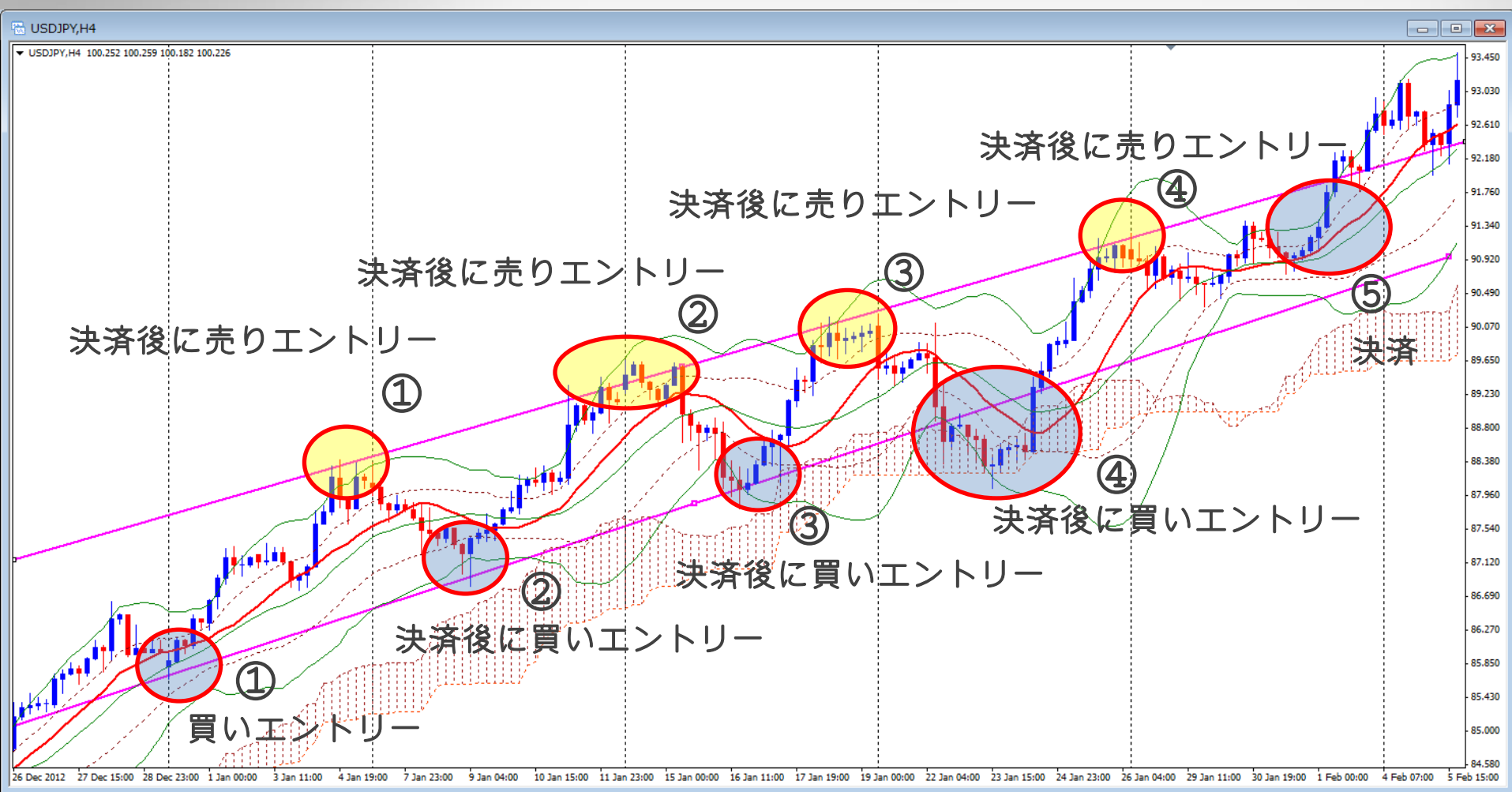
エントリーパターン④のエントリータイミング



イグジットパターン④のイグジットタイミング

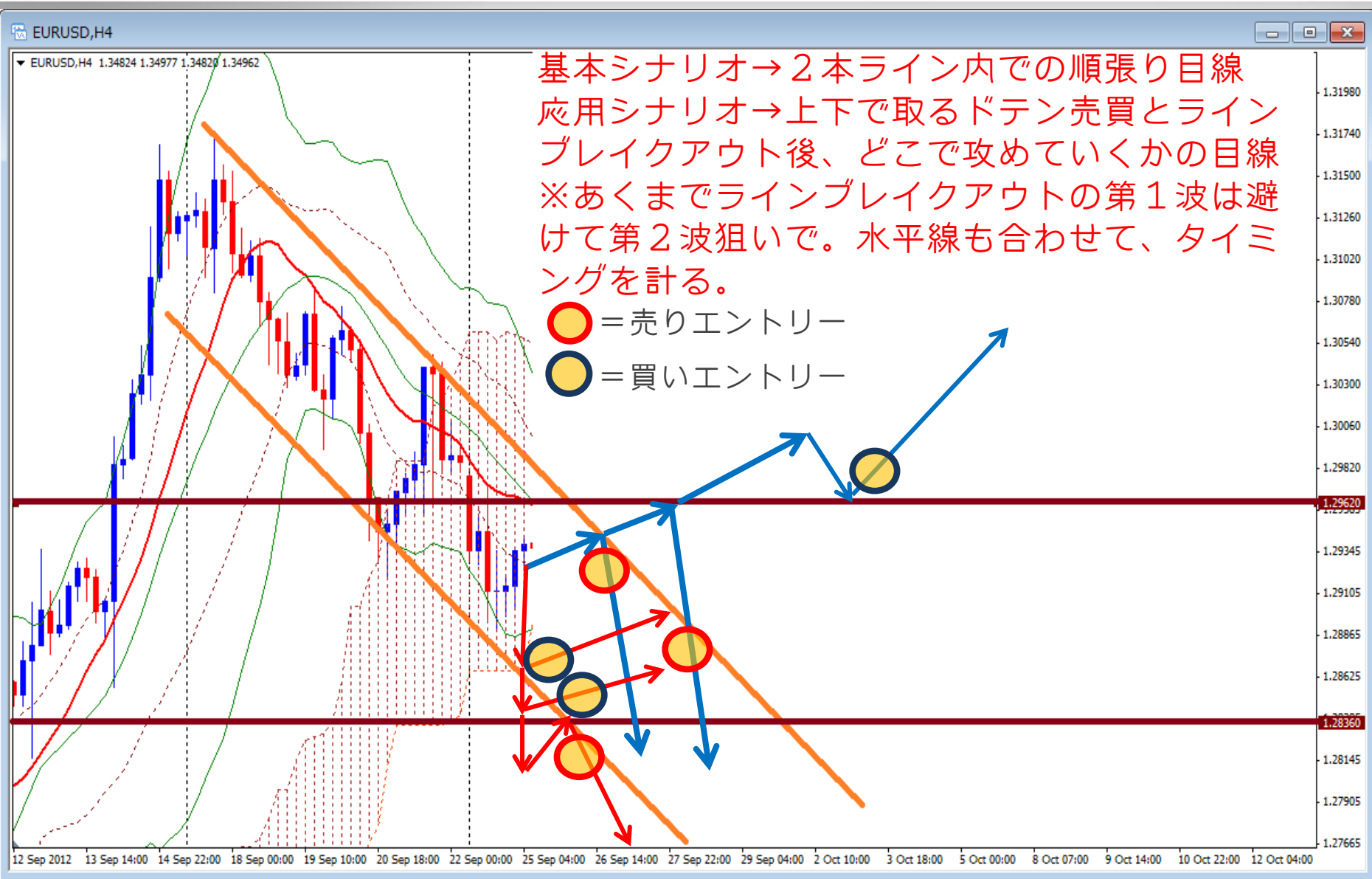


チャネルライン内での応用エントリーパターン



値幅の大きなライン内では、ドテン売買で攻める事ができる。

チャネルライン内からのエントリーシナリオを複数立ててみよう！



チャネルラインからのエントリー手法が有効に働く相場環境と注意点

- ①トレンドラインとチャネルラインが引くことができる＝トレンドが継続している相場環境となるので、長期足でのトレンド発生をしっかりと認識すること。
- ②トレンドラインもチャネルラインもラインで何度も跳ね返り、長く保たれているラインが信頼度高くなる。＝ブレイクした時はその後の動きに注意する。
- ③長期足で引いたラインは短期足でタイミングを計る時はヒゲではみ出たり、一旦ブレイクしたと見えるので、ラインからはみ出たときは本当にブレイクしたかどうか待ってから判断すること。
- ④エントリーはあくまでラインを重視。利益確定もラインを重視。
流れに逆らわず、順張りをする場合は、トレンドラインと順張りのエントリー根拠が重なる場面は自信をもってエントリーできる事になる。
- ⑤ラインブレイクが起こった時はすぐにはエントリーしない事。水平線と合わせてエントリータイミング計ることで第1波を避け、ダマシ引つかからないように心がける。
- ⑥基本エントリーはトレンドの流れに逆らわない順張り手法。
応用エントリーはトレンドの流れに逆らう逆張り手法。
ラインブレイク後は水平線と組み合わせて第2波を狙ったサポレジ・レジサポ転換手法。